



# 「くまモン!これ英語でなんていうと?英和・和英じてん」

## 活用事例集



©2010 熊本県くまモン



県教育委員会では、自分の住んでいる地域や郷土熊本に誇りを持ち、英語で発信することができる児童の育成を目指し、本県独自教材「I CAN DO IT! Junior」の配付・活用及び異文化交流体験活動等の取組を推進し、英語教育の充実を図っているところです。これまでの取組に加え、くまモンがメインキャラクターであり、熊本弁を使用して英単語の意味や用例等が示されている辞典に触れることを通して、郷土の言葉や英語に興味・関心を持ち、英語を主体的に学ぼうとする態度を育成することを目的に、標記辞典を配付しました。

本リーフレットには、外国語活動の授業等における標記辞典の活用事例を掲載しています。活用事例を参考に、各学校において標記辞典の活用をお願いします。

### 【辞典の特徴】

- 英和辞典と和英辞典が1冊になっています。
- くまモンのイラストが掲載されており、楽しみながら学習することができます。
- 「熊本県」に関する内容が掲載されています。
  - ・「くまモン自己紹介」……………P 3～5
  - ・「熊本県についてもっとしろう!」……………P 6～8  
(例) 熊本城、阿蘇山等
  - ・「熊本のこれ、英語でなんていうと?」……P 20  
(例) 特産品……あか牛、いぐさ等  
自然……カルデラ、大観峰等  
建造物……天草五橋、通潤橋等  
食べ物……いきなり団子、からしれんこん等

- 日常会話でよく使う会話表現を対話形式で示した「ミニ会話」が設けられています。和訳は、熊本弁で書かれています。

conversation	ミニ会話
<b>テレビば見てよかですか?</b> May I watch TV?	<b>でけんばい。</b> No, you may not.



## 【活用場面】 夏休みの思い出紹介！

東 6U4, 光 6U4, 開 6L6

音声で十分に慣れ親しんだ表現を使って夏休みの思い出を書く際に、本辞典を活用した。児童は場所や食べ物など、音声で慣れ親しんでいる単語を辞典で調べ、各自で英文を完成させていた。今までは、JTE か ALT に質問していた単語も自分で調べることができ、以前より書く活動の時間が短縮された。また、早く書き終わった児童は辞典を読んだり、興味のある単語を調べたりするなど、意欲的に取り組んでいた。

活動の様子や  
児童の作品



## 【児童の様子・反応】

児童からは、「熊本弁で書いてあったり熊本の情報が載っていたりして、楽しく英語を学ぶことができた。」「英和と和英が一つになっているので便利で使いやすい。」「英語の横や下に写真や読み方が書いてあってわかりやすかった。」などの声が聞かれた。また、「いつもはわからない言葉を先生に聞いてから書くので時間がかかっていたが、辞典があれば自分で調べられるので、いつもより英文を早く書き終えることができた。」という声も聞かれた。



## 【活用場面】 夏休みの思い出絵日記作成！

東 6U4, 光 6U4, 開 6L6

単元末に、自分の夏休みを紹介する絵日記を作成した。日記に使う言葉の中で、わからない表現を調べるために、本辞典を活用した。まず、辞典の使い方の復習として、全員で同じ言葉を調べ、イラストや熊本弁、単語の読み方などが丁寧に説明されていることがこの辞典の特徴であることを確認した。確認後、それぞれ自分の知りたい単語を調べた。楽しそうに単語を調べる様子が見られた。

活動の様子や  
児童の作品



辞典の使い方を改めて復習！



何より、調べるのが楽しい！



友達と使うと更に学びが深まる！



## 【児童の様子・反応】

児童からは、「くまモンの辞典を初めて知った。使い方も、読み方もわかりやすかった。」「わからない英語を調べることができてとても便利だと思った。」「日記を書く時に辞典の使い方も教えてもらった。家でもたくさん単語を調べて、英語を知ることができるように頑張っていきたい。」などの声が聞かれた。

## 6年 We Can!2 Unit4 I like my town.

産山村立産山学園 井多恵 教諭



### 【活用場面】 交流活動で地域紹介！

東 5Check Your Steps2, 光 6U6, 開 5L9

9月に行われるヒゴタイ交流(タイ王国カセサート校との交流行事)に向けて、「産山村のいいところを交流生に伝えよう。」という単元の目標を設定した。建物や場所を英語で尋ねたり、話したりする活動を通して単語に慣れ親しみ、まとめの活動で、地図を示しながら地域にあるものや好きなところを紹介する活動を行った。地域紹介では、教師が「公園」「牧場」などの場所を紹介し、その後、ペアで「産山村のいいところベスト4」を選び、英語で書くことに挑戦した。その単語をもとに「産山村のいいところ紹介」の原稿を作成し、タイの生徒に写真を見せながら発表した。

#### 活動の様子

「産山村のいいところベスト4」を調べている様子



タイの交流生に写真を示しながら発表している様子



#### 【児童の様子・反応】

「熊本県は、Kumamoto Prefecture と言うんだ。」というつぶやきが聞こえるなど、身近な単語に興味を持つ姿が見られた。また、「星」「水源」「あか牛」など阿蘇や産山村の特色のあるものについて調べる場面では、「水源」など辞典に載っていない単語は、「水」と「資源」を調べるようにアドバイスをしながら取り組んだことで、学習に広がりが見られた。

## 6年 We Can!2 Unit5 My Summer Vacation

天草市立本渡南小学校 石原 堅太郎 教諭



### 【活用場面】 言葉調べと夏休みの思い出絵日記作成！

東 6U4, 光 6U4, 開 6L6

毎時間の導入場面で、自分で言葉を調べる力を付けることを目標に、学んでいる Unit に関する言葉について、JTE から日本語を1つ、ALT から英語を1つ伝え、児童が辞典で調べた。

また、夏休みの思い出を絵日記にまとめた際に、新教材に出てくる表現以外で言いたい言葉を進んで調べていた。辞典が身近にあるので、必要な時に素早く手に取って調べることができた。

#### 活動の様子や

#### 児童の作品

「エビ」って、種類によって英語の表現がちがうんだ!



夏休み日記ができたよ! みんなはどんな思い出があるのかな。

夏休みの日記。  
辞典でわかった言葉を、よく見て写そう。



#### 【児童の様子・反応】

児童からは、「辞典を使うと、知りたい言葉を自分の力で調べることができるので楽しい。」「これまで意味がわからなかった言葉を、辞典を使って調べることができ、いつでも意味がわかるようになった。」「熊本弁を表現した英語も辞典に載っているので、読むだけで楽しい。」という声が聞かれた。

## 6年 We Can!2 Unit3 He is famous. She is great.

合志市立合志小学校 武田 春香 教諭

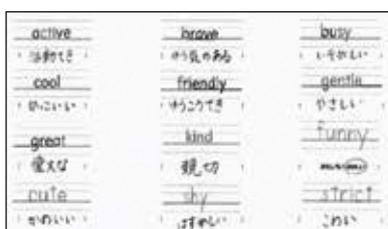
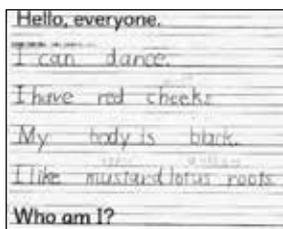


### 【活用場面】 人物の特徴を表す言葉調べ！

**東** 5U8, **光** 5U5,U9, **開** 5L6

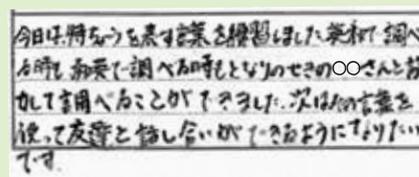
人物の特徴を表す言葉 (kind, gentle, famousなど) を単元の2時間目に学習した。ワークシートに単語を示し、意味調べをするために英和辞典を活用した。意味調べをしていく中で、他にも調べたい特徴を表す言葉がある場合は和英辞典を活用した。単元の後半では意味の通じる文を作る中で“ I have ○○.” “ I want ○○.” “ I eat ○○.”など、○○に入る目的語をペアやグループで考える時間を設けた。“ I like mustard lotus roots.”と、熊本の特産物である「からしレンコン」を辞典の中から見つけて書く児童もいた。

#### 活動の様子や 児童の作品



#### 【児童の様子・反応】

人物の特徴を表す言葉を調べる際には、「賢い」「厳しい」といった言葉を積極的に調べる姿が見られ、児童がどのような言葉に興味を持っているのかがよくわかった。



## 6年 We Can!2 Unit4 I like my town.

御船町立小坂小学校 寺園 光湖 教諭



### 【活用場面】 町のアピールポスター作成！

**東** 5Check Your Steps2, **光** 6U6, **開** 5L9

「御船町のアピールポスターを作ろう。」を単元のゴールとし、地域の良いところやあってほしい施設を紹介する活動を設定した。地域の様々な施設の名称を教師に意欲的に質問してきたので、辞典を紹介し、「まずは自分で調べてみよう。」と提案した。調べたい言葉を見つけた時には、嬉しそうに周囲の友達に紹介していた。児童は、既習の表現を想起しながらアイデアを出し合い、学び合っていた。

#### 活動の様子や 児童の作品



『くまモンじてん』で調べる児童



児童の作品ポスター①



児童の作品ポスター②

#### 【児童の様子・反応】

児童からは、「自分の探していた言葉が見つかって嬉しい。」「また自分で調べてみたい。」という前向きな反応が多く寄せられた。その結果、ポスター制作の際に、心を込めて文字を書こうとする児童が多く見られた。辞典を活用することで、言葉を自分で探し出せたという喜びや、互いに学び合おうとする対話が生まれていた。

## 6年 We Can!2 Unit6 What do you want to watch?

宇城市立当尾小学校 馬場 郁子 教諭



### 【活用場面】 観たい競技のポスター作成！

東 Picture Dictionary P7, 光 6U3, 開 6L8

単元の導入として第1時に、東京オリンピック・パラリンピックの競技一覧を配付し、児童が興味のあるスポーツを新教材や辞典を使い調べる活動を行った。また、「東京オリンピック・パラリンピックで観たい競技のポスターを作って紹介しよう。」という単元のゴールを決め、自分の観たい競技を1種目選び、ポスターを作成した。国名やメダルの色、選手の特徴を表す言葉などを辞典で調べまとめた。

活動の様子や  
児童の作品



注目選手やランキング、過去の大会の成績など

ボールにベルが入っていることをイラスト付きで説明



辞典を使ってポスター作成



### 【児童の様子・反応】

『「競技中、会場は静かにしなければいけない。』と書きたい。』など難しい文章にチャレンジする児童には、『「静かに」を調べて、審判が指で『シー』としている絵を書いたらどうかな。』と助言し、イラストと簡単な言葉に置き換えて調べさせるとスムーズに調べることができた。調べた後に、英語で表記した競技名一覧を配付し、自分が調べた言葉と比べさせると「陸上は track and field って書いてあったのに athletics になっている。」などの気付きが出ていた。

## 6年 We Can!2 Unit7 My Best Memory

あさぎり町立上小学校 木下 晃司 教諭



### 【活用場面】 思い出に残った行事（場所・見たもの調べ）！

東 6U7, 光 6U7, 開 6L9

「思い出に残った行事について、お互いに伝え合おう。」という単元のゴールを設定し、学習を進めた。その際、「I went to ~ .」 「I saw ~ .」 「I enjoyed ~ .」 の3つの視点で考えさせた。多くの児童が新教材に出てこない場所や自分が見たものを伝えたいと思った。そこで、辞典を活用した。

活動の様子や  
児童の作品



調べたい言葉	英語	読み方
公園	park	パーク
店	shop	ショップ
長崎	Nagasaki	ナガサキ
庭	garden	ガーデン
海	the sea	ザシー
船	ship	シップ
街	city	シティ
夜景	night view	ナイトビュー
泉	spring	スプリング
像	statue	スタチュ



### 【児童の様子・反応】

心に残った場所や見たものをぜひ英語で伝えたいと、辞典を使い、読み方や使い方などを意欲的に調べる児童の姿が見られた。また、発音の仕方がカタカナ表記されているため、太字（アクセント）や「ー」「～」（長音）にも興味を持ち、ワークシートに自分なりに書き写す児童がいた。

## 6年 We Can!2 Unit8 What do you want to be?

山鹿市立八幡小学校 大城戸 順子 教諭



### 【活用場面】 自分のなりたい職業調べ！

東 5U3,6U8, 光 6U8,U9, 開 5L3,6L10

職業の英語表現を学習する第1時にALTが“vet”（獣医）と発音し、意味をグループごとに調べる活動を行った。児童が既に知っている職業名も多いため、教師が、児童が知らない職業“vet”を選ぶことで言葉に対する関心を高めることができた。第4時には自分のなりたい職業をスピーチする学習に取り組むため、“I want to be ○○.”の○○の部分で自分で調べるワークシートを作成し、第3時に和英辞典を使って調べ、書き写した。

#### 活動の様子



#### 【児童の様子・反応】

和英辞典を使い、自分のなりたい職業を調べる際は、国語辞典と同じ使い方のため、スムーズに調べられていた。辞典がカラーであること、馴染みのあるくまモンが描かれていること、一般的な和英辞典に比べ文字が大きいことで抵抗なく活用できていた。児童の感想も「くまモンがかわいかった。」「文字が大きくて見やすかった。」という内容が多かった。

## 6年 We Can!2 Unit8 What do you want to be?

荒尾市立中央小学校 浜崎 由香 教諭



### 【活用場面】 なりたい職業の絵カード作成！

東 5U3,6U8, 光 6U8,U9, 開 5L3,6L10

単元のゴールに、自分のなりたい職業を伝える活動を設定した。これまでは、学校にある絵カードを使って学習をしていたが、なりたい職業の絵カードがない児童もあり、本当に使いたい単語への慣れ親しみが不十分であった。そこで、第2時に自分のなりたい職業を辞典で調べ、絵カードを作成した。事前アンケートを基に、なりたい職業のイラストを準備し、①イラストを貼る ②児童がなりたい職業の単語を調べる ③辞典に載っていたら、シートに書き写す（ない場合は先生に聞く。）④先生にチェックをしてもらう ⑤ペンでなぞる ⑥裏にマグネットを貼る、という流れで作成した。

#### 活動の様子や 児童の作品



#### 【児童の様子・反応】

児童はとても喜んで辞典に触れていた。教師が準備した絵カードではなく、自分たちで手作りした絵カードを使って学習することは、児童の満足感と学習の充実につながった。本当になりたい職業を繰り返し練習することで、第3時の終わりに、多くの児童たちが自分のなりたい職業を英語で言うことができるようになった。